

各関係機関団体の長 } 殿
各病虫害防除員

福岡県農林業総合試験場長
(福岡県病虫害防除所)

技術情報第1号

茶のカンザワハダニの発生について

昨年末から1月中旬まで高温傾向が続いたため、カンザワハダニの越冬量が平年・前年より多く、4月5半旬の調査でも発生が非常に多い状態になっています。今後1カ月の気象予報でも、気温は平年より高い見込みで、気温の上昇とともにさらに多発することが予想されます。

茶園での発生状況に注意し、適期防除に努めましょう。

1 対象作物名：茶

2 病虫害名：カンザワハダニ

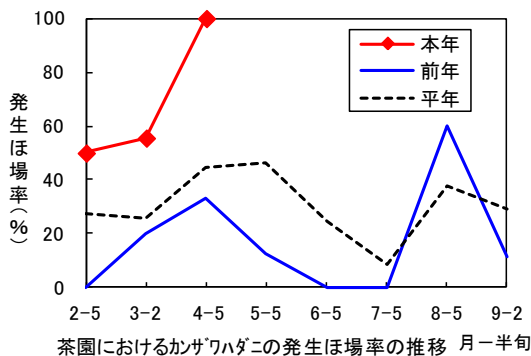
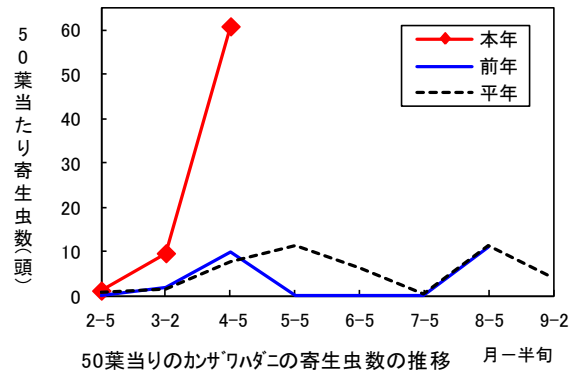
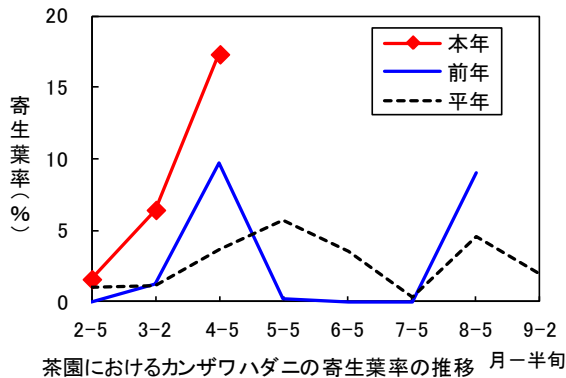
3 発生状況

4月5半旬調査の結果、発生量は平年・前年よりも非常に多い。

寄生葉率 17.3% (平年 3.7%、前年 9.7%)

50葉当たり虫数 61.0頭 (平年 7.8頭、前年 9.8頭)

発生ほ場率 100% (平年44.8%、前年33.3%)



4 防除上注意すべき事項

- ア 発生状況をよく観察し、寄生葉率が2%以上である場合は、効果の高い薬剤で一番茶摘採後から二番茶萌芽期までに防除を徹底する。
- イ 薬剤は、寄生の多い裾葉・葉裏に十分かかるよう400リットル/10aを目安に丁寧に散布する。
- ウ 同一系統薬剤の連続散布を避け、異なる系統の薬剤をローテーション散布する。